

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		団体負担金		事業コード	1137
担当課等	所属名	監査委員事務局		担当係名	
	課長名	監査委員事務局 監査委員事務局	担当者名	監査委員事務局 監査委員事務局	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード 8	施策	計画的で効率的な行政運営の推進	コード 2
	基本事業	公正な行政事務の確保	コード 4	関連予算 費目名	一般会計 2款 6項 1目 監査事務(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度					
事務事業の概要	全国、東北、県内各市で構成されている各監査委員会及び盛岡管内の各市町村で構成されている協議会に対し、負担金を支出し、総会、研修会等に参加するもの					
根拠法令等	全国都市監査委員会会則、東北都市監査委員会会則、岩手県都市監査委員会会則、盛岡地区監査委員協議会会則					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
監査委員相互の連絡を密にし、監査委員制度の円滑な運営とその健全なる発展を図るため、昭和25年に岩手県都市監査委員会及び東北都市監査委員会が発足され、その後昭和27年に全国都市監査委員会が、昭和46年に盛岡地区監査委員協議会が発足して現在に至っている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
なし						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
市町村合併の進行により、構成者数の減少が続く、会費収入が減少する中、総会や研修会の開催方法を見直し、経費の縮減に努めている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 負担金支出団体数	単位	団体
			B.	単位	
			C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 総会・研修会参加数	単位	回
			B.	単位	
			C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 総会・研修会参加率 (総会研修会参加数/総会・研修会開催数×100) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
			B.	単位	
			C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	行政訴訟件数(単位:件) 選挙争訟件数(単位:件)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	負担金支出団体数	団体	4	4	4	4	4	4	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	総会・研修会参加数	回	12	12	12	12	12	12	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	総会・研修会参加率 (総会研修会参加数/総会・研修会開催数×100)	%	100	100	100	100	100	100	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,374	1,476	1,695	1,695	1,481	1,500	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	1,374	1,476	1,695	1,695	1,481	1,500	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	1,374	1,476	1,695	1,695	1,481	1,500	*****
	延べ業務時間数	時間	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120	*****
	職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	4,480	4,480	4,480	4,480	4,480	4,480	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	5,854	5,956	6,175	6,175	5,961	5,980	*****

3. 事務事業の評価(See)


必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 他自治体の監査委員と情報や連絡が密になることにより、監査事務を円滑に進めることができる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市の監査事務を円滑に推進するために寄与するものである。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 事業目的達成のため、市が属する団体である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 事業目的の達成のため、共通の課題を抱え、問題解決を図ろうとする団体である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 必要な会議には全て出席している。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 監査事務に対する情報が少なくなり、事務の硬直化等監査能力の低下が懸念される。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: それぞれの団体でも事業内容の見直し等を行い、効率的運営に努めている。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 必要最小限の参加に勤めている。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: _____
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 負担金は、団体の規約で定められている。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 所属する団体に更なる効率的事業運営を求めていく。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)
---------	---

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ② 有効性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り, 反省点) 監査委員制度の円滑な運営を図るため、全国等の監査委員会への会議及び研修会等に参加した。
------	--	---

今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
	
方向付けの理由と改革改善の内容 本市の監査委員制度の円滑な運営に資するため、引き続き全国等の監査委員会の会議及び研修会等に参加していくこととする。	